

令和3年度 自己評価書・学校関係評価書

令和4年3月7日  
真庭市立久世こども園

1. 久世こども園の教育保育目標

- 健康で明るい子ども
- 友達と仲よく遊ぶ子ども
- 自分のことは自分でする子ども
- 豊かな心情をもち考える子ども
- 自分の考えを発表できる子ども

2. 本年度の重点目標（課題）

**\*心も体も健康でたくましく、生き生きと活動する幼児をめざして  
～一人一人が遊び込める環境作りを考える～**

- 家庭との連携を深めながら生活習慣の定着を図り、心身ともに健康で安全に生活しようとする態度を育てる。
- 人とかかわることを大切にして、思いやりの気持ちや言葉で伝えあう力を育てる。
- 心や体を動かして遊べる環境の工夫に努め、自分で考え粘り強く取組む力を育てる。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園 総合評価	評価委員 評価 (学 校評議員評価)
教育課程・ 指導計画	園の教育目標や全体的な計画に基づいて各年齢の職員が子どもたちの発達に合わせ話し合っ計画や活動内容を考えることができた。職員間で園児の見取りを丁寧に行いふり返りをしっかりとすることで共通理解を次につなげることができた。	3	3
行事	今年度もコロナウイルス感染症の拡大により中止や縮小という事になり残念に思う。時間や内容を考え昨年よりは回数を増やして行うことができてよかったと思う。ねらいをはっきりと持ち行事を通して心や体の成長につながるように意識して行った。	3	3
組織・運営	職員数は増えたものの、クラスの人数が増えたり配慮を必要としている子どもさんが増えたこと日々の運営で職員の負担も多かった。兼務園長ということで話し合いの時間が取りにくかった所が個人の反省としてあげられる。	3	3

学級経営	担任が一人一人を大切に保育教育を行おうとすることができていた。しかし多くの場面に細やかな配慮が必要となり短期職員もお願いしながら対応を行ってきたが、十分とはいえなかった。担任だけでなく職員みんなで全園児を見守る体制は意識して行った。	3	3
特別支援教育	県や市の指導員の方に指導して頂く機会を持ちながら、子どもたちの様子を把握したり手立ての仕方を学んだりして実践に生かしていくことができた。必要とされる子どもさんが増えているので今後も引き続き行っていきたいと思う。	3	3
安全管理・保健指導	安全管理において園内研修など行ったが、あらゆる場面を想定して行うことはできなかった。コロナ感染予防に向けて手洗い、消毒、マスクの着用など気をつけて指導してきたが拡大してしまい残念だった。	3	3
研修（資質向上）	オンライン研修が増え受講できる機会は増えたが園業務が多忙でなかなか参加できる環境が作れなかった。参加した職員の復命で保育力アップを目指すように努めた。	3	3
情報提供・保護者・地域との連携	園での様子などをホームページに掲載することはできた。地域との関わりは持ちにくい状況だったが PTA 活動などで保護者の方との連携が持てた。	3	3
小学校との接続・連携	話しあいの場も複数回持て情報交換などを行いよりよい関係ができたのでとてもよかった。コロナの関係で最後の大事な行事ができなかったので残念だった。引き継ぎを丁寧に行いたい。	3	3
子育て支援	保護者のアンケートで低い評価の部分が多く見られた。子育てを楽しんだり喜んだりすることができにくくなっているように感じる。園からの情報発信や情報交換を行い安心したり認め合ったりするような場所の提供を今後考えていく必要を感じた。	3	3
食育の推進（給食）	今年度真庭高校との交流を行い野菜の栽培などに取り組むことができた。収穫後に調理することが環境やコロナの関係でできにくいところに課題を感じた。「和食の日」の取り組みとして栄養士が考えて行ったので継続していきたい。	3	3
食事の提供（調理）	学校給食からの提供で今年度から3歳児は各自の箸セットを持参してもらうようにしたので食べやすくすることはできた。食材の大きさや味付けなどは低年齢児には食べにくい時もあったので無理なく進めるように心がけた。	3	3

#### 4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園 総合評価	評価委員評 価（学校評議 員）
生活習慣の定着に向けて	年間を通して取り組んできたが、少子化で保護者が手を出しやすい環境にあり家庭での経験不足も感じるので啓蒙等もっと一緒に取り組んで行く必要を感じた。低年齢児から就学を見据えた取り組みを心がけていきたい。	3	3
家庭での生活について	コロナ禍で地域との関わりが減ったり、核家族化が進み仕事と子育ての両立で子どもとゆっくり関わるのが減ったりして子育てが楽しいと思いがなくなっているように感じるので園からの発信が少ないので、子育てが楽しいものとなるよう認める事などが必要になってくると感じている。		

5. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

- 教育目標・重点課題において保育者、園が一体となり工夫して環境構成などできており、子どもの力を育むよう努めることができている。
- 配慮を必要とする子どもが増える中、丁寧に見取りながら対応することができており、今後も引き続き努力して欲しいと思う。
- 情報提供が課題となっているように思う。保護者の思いに寄り添えるよう職員全体で考えいくことが必要。話しをすることが大切になってくると思われるので保護者とのつながりを深めていく取り組みを考慮して、評価の部分で肯定的評価につながるようにして欲しいと思う。
- コロナ禍であったが、園行事やPTA活動を工夫し行っていくことが保護者との連携を深める為にも必要と考える。 感染対策、マスク着用の定着など家庭との連携等大変なことが多いと思うが、今後も細かい工夫をして安全に生活できる園作りをして欲しい。
- 小学校との接続について情報交換や生活習慣の確立に加え、遊びの中で学びにつながる工夫も考慮して欲しい。
- 保護者アンケートから、家庭での評価が低いように感じる。園と家庭とが協力しあい、情報共有していくことが課題となっている。ICTの導入も進んでいるということで、導入の仕方、方向性などをいまからしっかり考えて取り組んでいく必要を感じる。
- 食事の提供は久世こども園の課題であるが、その中でも食育の取り組みを行っており今後も引き続き行ってほしい。

6. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

- 情報共有の課題について  
保護者との話し合いや会話、園だよりなどでの啓蒙を大切にして忙しい中でも子育てが楽しめるような取り組みについて職員間で話し合い進めていく努力を行いたい。保護者の方が喜びを感じることができる工夫も力を入れていきたいと思う。
- コロナ禍の取り組み  
感染対策について園と家庭と連携しながら安全安心な園運営に引き続き努力したい。行事等においても工夫して行うよう取り組んでいきたい。
- 家庭での生活習慣の確立  
園だより等を利用し、家庭での取り組みの支援ができるような工夫をして、子育てへの意欲につながるようにしていきたい。
- 学校・地域との連携について  
より積極的な働きかけを行い、他機関の力も借りながら、園児のよりよい育ちや経験の場となるような取り組みを考え工夫していきたいと思う。

学校評議員・園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である